

技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	インフラDX <input checked="" type="radio"/> 安全・防災	維持管理	環境	コスト	品質	(該当分類に○を付記)
技術名称	ミニガードシステム	担当部署	福岡支店 営業部			
NETIS登録番号	掲載期間終了技術	担当者	国武 人志			
社名等	株式会社エムオーテック	電話番号	092-283-0380			
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機					
	防護柵(ガードレール)に要求される性能が高い為、衝突車両や乗員の安全性だけではなく、衝突時の部材飛散による二次災害等も未然に防止したいと考えました。					
	2. 技術の内容					
	軽量かつ柔軟な継手構造にすることにより剛性を高めました。					
	3. 技術の効果					
軽くて扱いやすく連続性が高いことから、衝突実験・風洞実験において安全性が確認されています。						
4. 技術の適用範囲						
高速道路・一般道路工事など						
5. 活用実績						
国の機関 140 件 (九州 26件、九州以外 114件) 自治体 274 件 (九州 33件、九州以外 241件) 民間 162 件 (九州 4件、九州以外 158件)※NEXCO他						

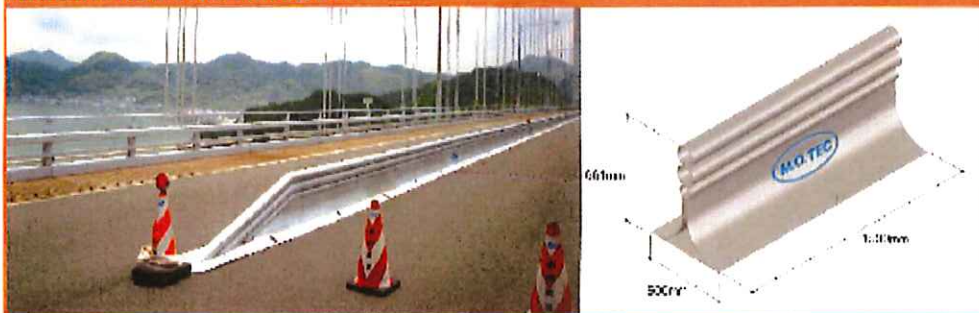
M.O.TECの新技术

仮設ガードレール ミニガードシステム®

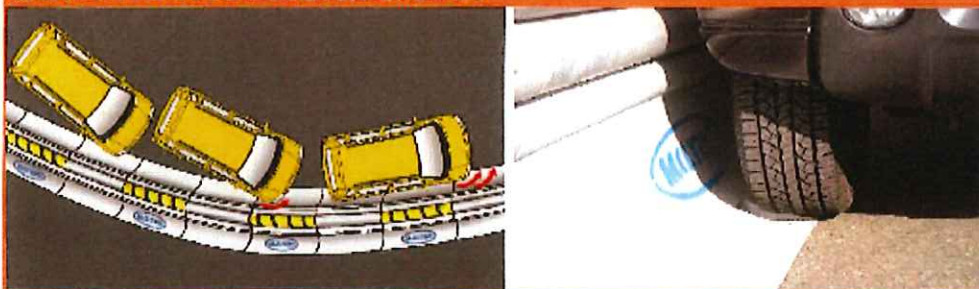
・ 国土交通省 NETIS 承認 同技術 特許

フォームが作る 優しさと強さ

圧迫感の無い曲線で構成された形状です



衝突時にタイヤがゆるやかに乗り上げ衝撃を和らげます



大きさを感じさせない高0.50mの底面によって軽量でありながら転倒に強く密封性の良さが高い安全性を生み出します



エレメント (1.50m) 下部の重量 50kg、上部の重量 30kg、簡単な施工で高い透水性を実現します

風洞実験風景 (風圧に対する安定性を検証しています)



転倒時の風速は
 H形鋼ガードレール 風速 26m/s
 ミニガードシステム 風速 33m/s
 (鉄道総研 風洞実験センターにて実施)